

行動規範

【1. 誠実で透明な経営】

私たちは、企業倫理を徹底し、自らの活動を適時・適切に開示します。

1. 企業倫理を徹底するための体制を整備します。
2. 内部通報制度を整備し、通報窓口を設置します。
3. 企業倫理に関する教育や研修を実施し、その充実を図ります。
4. 企業理念や企業行動憲章、行動規範の基本姿勢は社外にも開示します。
5. ステークホルダーに対して適切に情報提供・開示を行ないます。
6. 広報活動や IR 活動等を通じて、社会との双方向のコミュニケーションを促進します。

【2. 健全な経営活動の実践】

私たちは、適正な取引を行い、国内外の法令等を遵守します。

1. 優越的地位を濫用することによりサプライヤに不利益を与える行為は行ないません。
2. 法令に従い輸出管理体制を整備します。
3. 独占禁止法の遵守につき、社内での徹底を図ります。
4. 公正・透明・自由な競争を阻害する行為は行ないません。
5. 自社の知的財産を保護するとともに、他者の知的財産を尊重します。
6. 不当な利益等の取得を目的とする贈答・接待は行ないません。
7. 政治・行政との健全かつ正常な関係を保ち、贈賄や違法な政治献金などは行ないません。
8. 国際ルールを踏まえた行動規範と現地の法律の遵守を徹底します。
9. 海外においても現地の文化や慣習を尊重し、相互信頼を基盤とした事業活動を推進します。
10. 外国公務員に対して、強要や賄賂を含むあらゆる形態の腐敗につながる行為は行ないません。

【3. 社会との調和】

私たちは、良き企業市民として社会に貢献し、反社会的勢力とは与しません。

1. (財)丸文研究交流財団の活動を支援し、産業の発展に貢献します。
2. 業界や経済界としての社会貢献活動に参画するように努めます。
3. 従業員の自発的な社会参加を支援します。
4. 反社会的勢力または団体には毅然とした態度で臨みます。

【4. 環境保全への貢献】

私たちは、環境保全に資する経営を実行します。

1. 環境マネジメントシステムを構築・運用し、資源の有効利用、廃棄物の削減に努め、環境保全に取り組めます。
2. 製品含有化学物質の管理システムを構築し、運用します。
3. 法令等に従い、毒物・劇物管理、特定化学物質管理、危険物管理などを行ないます。
4. 環境活動の成果の開示について、適切に対応します。

【5. お客様の満足の向上】

私たちは、お客様にとって価値ある商品やサービスを提供し、そのニーズや期待に応えます。

1. お客様の状況を理解し、そのニーズや期待に応えることによりお客様の信頼獲得に努めます。
2. 商品・サービスの安全性と信頼性を確保します。
3. 品質マネジメントシステムを構築し、運用します。
4. お客様に対して、商品・サービスに関する正確な情報を提供します。

【6. 企業リスクの適切な管理】

私たちは、適切なリスク管理を通じ、長期的かつ安定的な成長を目指します。

1. リスクを評価し、適切なリスク対応を行ないます。
2. 危機対応マニュアルや事業継続計画などを策定し、緊急事態に対応する社内体制を整備します。
3. 緊急事態が発生した場合は、速やかに事実調査、原因究明を行い、適切な対応と再発防止に努めます。
4. 情報セキュリティ体制を整備し、すべての個人情報および機密情報は適切に管理・保護します。
5. インサイダー取引を防止します。

【7. 人権の尊重】

私たちは、人権、人格および多様性を尊重し、いかなる差別も行いません。

1. 雇用における差別を行わず、機会の均等を図ります。
2. 従業員の多様性、人格、個性を尊重し、差別や嫌がらせを排除します。

3. 多様な人材が個々の能力を十分に発揮できる人事処遇制度を構築します。

【8. 働きやすい職場作り】

私たちは、安全・快適でチャレンジ精神を尊重する職場環境を実現します。

1. 労働災害、労働環境および労働疾病の状況を把握し、適切な安全・衛生対策を講じます。
2. 職場において人体に有害な化学物質および悪臭などに接する状況を把握し、適切な対策を講じます。
3. 全ての従業員に対し、適切な健康管理を行ないます。
4. 従業員の労働時間・休日・休暇を適切に管理します。
5. 従業員と直接あるいは従業員の代表と誠実に対話、協議します。
6. 従業員のキャリア形成や能力開発を支援します。